

# 本 部

## 音楽療法講座の反響

国6-本 黒田 宏

2002年12月、市民病院のクリスマス・コンサートに友愛訪問を兼ねて参加しました。このとき院長先生が“音楽療法”に関する所見として、既に痴呆が始まっている患者さんが歌詞を見ながら皆と一緒に唄っているのを見て“音楽療法”の効果を述べられました。これが今回の講座開催のきっかけです。

予定人員の2倍の応募者があり抽選により約半数の45名が第1回の講座に参加。皆さんから大好評を得、3日間の講座を終了しました。中には「事務局の発想が素晴らしい」と言う賛辞まで頂き“わ”事務局としても引続き抽選漏れの方を対象に第2回目の講座を開催する予定です。友愛訪問が比較的多い“わ”のボランティア活動には、書道による療法や絵画による療法等の講座もあるので逐次検討をして行きたいと思っています。

なお終了後アンケートを書いて頂いたので纏めたものを以下に報告します。

\*

### 1. 今回の音楽療法講座は

良かった：26名

普通：6名

良くなかった：3名

無回答：10名(含む欠席者)

出席者：第1日目＝44名、

第2日目＝36名、

第3日目＝37名

### 2. どのような点が貴方の活動の参考になりましたか？

(主なものを掲載)

対象者に接する心遣い・心構え・態度の大切さ。また対象者の視点を間違えないこと。対象者も一緒に楽しめる工夫をする。例えば、簡単な楽器を利用して一緒に合奏する(極簡単なルールを準備する)。



対象者とのコミュニケーションの必要性  
セッションのあり方、進め方、留意点  
音楽と「高齢者の心理学」の関係

### 3. 今後あなたの活動にどのように生かされますか

(主なものを掲載)

既存の楽器でなくても手製のものを利用する。(ただし口に入れたりする危険のあるものは駄目)

「聴かせてあげる」でなく、対象者の表情・仕草に関心を持ち、同じ目線で話しかけるような心がける。

教わった「ハロー・ソング」(初めに唄う歌)や「また今度」(最後に唄う歌)を実践に採用する。

現在実践しているカラオケ会や絵画の会でも講座で得たものを積極的に採用する。

### 4. 1で と回答され方に伺います。どの点が良くなかったですか？ (いずれかに をして下さい)

難しかった 1名

3回は多すぎた 1名

その他(貴重な経験。楽器の

使い方が参考になった。欠席した場合の交代制について。その他) 1名

### 5. 今後どのような講座を希望しますか

さらなる専門知識を勉強したい。

脳や神経の老化を防ぐ再活性化をしてくれるような講座。

実践に役立つパターンの勉強。

シルバーカレッジで Music Bell・Tone Chime のグループを立ち上げて欲しい。

実践を見てみたい。

対象者に適した具体的な選曲、歌に合わせた動き(踊り等)について、楽譜を使つての講座、音階・和音等について勉強したい。

真理に関すること。

今後もこのような講座を希望する。

回数を増やして欲しい。

非常に良かったので次に何かを考えて欲しい。

このような講座は多くの人に受けて欲しい。

聴講者による実績の発表会はいかが？